

# 県会社の たより



## 第22号

発行 神奈川県住宅供給公社

<http://www.kanagawa-jk.or.jp>

## 神奈川県住宅供給公社ビルに **Kosha 33** が誕生!

「人を、まちを、住まいをつなぐ 33 番地」をキーワードに新たに横浜関内、日本大通りにオープン。



当社は、公的役割のひとつとして、「人を、まちを、住まいをつなぐ 33 番地」をキーワードとした“Kosha33 (コウシャ サンジュウサン)”のオープニングセレモニーを、平成 30 年 3 月 20 日に行いました。この Kosha33 には「スタジオ」、「カフェ」、「ライフデザインラボ」、「イベントホール」のゾーンがあり、住宅や暮らしについての情報発信を行っていきます。



▲ Kosha33 スタジオで行われたオープニングセレモニーでのテープカット。右から黒岩神奈川県知事、当会社・猪股理事長、シニアライフ振興財団・安室理事長



これから当社は“暮らし リノベーション”をテーマに、ライフデザインに合わせた「生涯賃貸」を提案していきます。

日本大通りに面した立地を活かし、色々な人が集まる場所となり、様々なコラボレーションやカルチャーが生まれ、それらの相乗効果を生み出す場となることを目指していきます。

◀ 3月20・21日に行われたイベントの様子



Kosha33 に関する最新情報は、  
下記 Web サイトをご覧ください。  
<https://www.kosha33.com/>  
※ 右の QR コードでもアクセスできます。



インターネットからは「神奈川公社」で検索!

<http://www.kousha-chintai.com>

神奈川公社

検索



# 「生涯賃貸」を目指す公社の取り組み～孤立死ゼロへ

平成29年版高齢社会白書（内閣府）によりますと、日本の人口は平成20年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、平成28年10月時点での65歳以上の高齢者人口は3,459万人、総人口に占める割合（高齢化率）は27.3%になります。この高齢化率はWHO（世界保健機構）の定義によりますと「超高齢社会（高齢化率21%超）」ということになります。

超高齢社会の到来は、当公社の一般賃貸住宅でも同様で、ご契約者の約半数が65歳以上であり、ご入居者全体で見ると高齢化率は約40%に達します。また、その中には単身でお住まいになる方も多く、当公社としましては「生涯賃貸」をコンセプトに賃貸住宅のあり方を模索しているところです。

具体的な取り組みの一例としては、ご入居者（自治会）や管理会社と共に孤立死等防止検討会を立ち上げ、ここでの検討結果として、自治体や民間企業等と「孤立死等対策に関する協定」を締結し、見守りネットワークの拡充に努めております。この結果、平成29年度は下表のような成果を得ることができました。

また今年の3月には、さらに愛川町並びに神奈川県宅地建物取引業協会とも協定を締結し、協定締結先は自治体13団体、民間4組織となりました。

見守りネットワークは質・量共に充実してきておりますが、それでも、「外からの見守り」には限界があります。「外からの見守り」とは、郵便ポストに新聞等がたまっている、電気が数日つけたままである、最近お姿を見ていないなど、



東本郷団地で行われた見守りサービスに関する座談会の様子

年度	安否確認件数	生存確認件数		死亡確認件数 (B)	救命と死亡の件数 (A+B=C)	救命率 (A/C)
		内、救命件数 (A)				
平成28年度	33	16	8	17	25	32%
平成29年度	51	32	11	19	30	37%

- ・安否確認件数の増加は、ご入居者の見守り意識の向上と見守りネットワークが広がったためと考えております。
- ・救命率の向上は、問題発生から安否確認までの時間が短縮されたためと考えております。

外部からの観察による見守りです。一方、「内からの見守り」とは、ご自身で事業者が提供する見守りサービスなどを利用することです。

こうした中、当公社は孤立死等対策に関する協定の締結先である東京ガス株式会社と連携し、さらにセコム株式会社の協力も得て、東本郷団地にて見守りサービスの試験運用を実施しました（平成30年3月1日から開始し、平成30年5月末まで実施予定。参加者：10世帯・17名）。

東京ガスの「くらし見守りサービス」や、くらし見守りサービスのオプション「救急サポート」として、「セコム・マイドクタープラス」をご利用になったご入居者からは、次のようなご意見を頂きました。

- ・安心感が増した（ご自身・ご家族を含め）。
- ・ガスの消し忘れについて、心配することがなくなった。
- ・ガスの利用について今までより意識するようになったので、風呂釜の種火をマメに消すなど、少し節約できたかもしれない。
- ・健康相談を無料でできるのがよい。

一方、

- ・スマートフォンを使っただけのサービス利用開始手続きが分かりにくい・難しい。
- ・特に変化を感じなかった。
- ・通報に使う専用端末が小さく、入れ物がないと女性は携帯しにくい。

などのご意見も頂きました。

当公社としては、ご入居者の利便性の向上と、見守りのより一層の充実を実現できるよう、このような試みを行っていきたく考えています。



サービスのパンフレットを熱心にご覧になるご入居者

## 再配達先に指定できる宅配便ロッカー

オープン型宅配便ロッカー「PUDO（プドー）ステーション」が竹山団地中央商店街（横浜市緑区）に設置されました。横浜若葉台（横浜市旭区）に続き2箇所目の設置となります。



竹山団地に設置されたPUDOステーション

### ・オープン型宅配便ロッカー設置の背景

ネット通販等の急速な普及により、宅配荷物の再配達先が社会問題として認識されるようになりましたが、今回設置したオープン型宅配便ロッカーは、再配達先を本ロッカーとすることで、宅配利用者と宅配事業者の双方にメリットを与えると同時に、環境負荷の低減にもつながると期待される事業です。

こうした中、当公社におきましては、公社の賃貸ご入居者と団地周辺居住者のみなさまの利便性を高めることと、社会問題解決への一助として社会に貢献できるものと考え、今回の設置に至りました。

このロッカーについては、運営事業者の情報をご覧ください。

- 運営事業者  
Packcity Japan（パックスティジャパン）株式会社  
<http://www.packcity.co.jp/>

## 駐車場空対策～コインパーキング、カーシェアの導入

公社が所有する駐車場は、ご入居者の高齢化や若い世代の車離れなどにより、空区画が増えてきています。こうした中、ご入居者の利便性向上と駐車場の収益改善を同時に行える手段として、駐車場のいくつかの区画をコインパーキングにすることを進めています。

コインパーキングの導入によるご入居者のメリットとしては、来客用駐車場を団地敷地内に確保できることや、迷惑駐車を防ぐ効果があることなどがあげられます。また、カーシェアリングについても、今後拡大していきたいと考えています。

コインパーキングやカーシェアリングの導入を希望される自治会がありましたら、まずは管理会社にご連絡ください。

- コインパーキング導入団地数：10団地
- カーシェアリング導入団地数：2団地 ※いずれも平成30年3月末日時点

## ご案内

### 平成30年4月からの管理会社について

当公社一般賃貸住宅の管理業務（横浜若葉台を除く）は、業者選定の結果、平成30年4月以降も引き続き一般社団法人かながわ土地建物保全協会が実施することになりました。これまで同様、お住まいに関する相談、陳情、苦情、退去受付等のお問い合わせは紙面下部の各サービスセンターへお願いいたします。

### 駐車場管理事業等の直営化について

公社が所有する駐車場・バイク駐車場・トランクルームの一部は、これまで一般社団法人かながわ土地建物保全協会（以下、「協会」という）に業務委託することで、契約・使用料収納等の業務を行っておりましたが、平成30年7月1日をもって、協会の当該事業を公社が譲り受けることになりました。

現在、協会と対象となる契約を締結されているご利用者には、別途、ご案内を差し上げておりますので、そちらをご確認ください。

なお、管理業務は引き続き協会が行います。

**広告** **くらし見守りサービス** **ガスのあるくらし、東京ガスが見守ります。** ご利用料金 **500円(税込)**/月

**1** 消し忘れのガスを止めることができる  
**消し忘れ確認・遠隔遮断サービス**

あ！床暖房のタイマーを切り忘れた！

**3** 離れてくらす家族が見守ってくれる  
**前日ガス未使用のお知らせサービス**

家族の安心に

さらに **救急サポート**

もしものとき、本人や家族からセコムに駆けつけを要請できるオプションも登場！  
緊急体調不良のとき  
連絡がつかなくて心配なとき

「くらし見守りサービス」の料金に加えて  
**基本料金 1,944円(税込)/月** **加入料金 5,400円(税込)**

「救急サポート」として、「セコム・マイドクタープラス」をご利用いただくものです。※別途セコムと直接「セコム・マイドクタープラス」をご契約いただく必要があります。※その他、都度料金が発生します。

**SECOM**

**2** 「ついっっかり」の消し忘れを電話でご連絡  
**自動通報サービス**

長時間ガスを使っていますか？

昨日ガス使っていないから、具合でも悪いのかと思っただけで連絡したの

家族から電話がきてうれしかった

●本サービスは、東京ガスのガスご契約者であることが条件であり、またご契約者さま宅を対象とします。●本サービスは、サービスのご提供のために通信装置と通信機能付のガスメーターを使用します。通信装置が設置できない場合は、本サービスはご利用になれません。●以下の場合、ガスの消し忘れ確認および自動通報サービスが提供できないことがあります。①口火、種火、とろ火等、ごく微量なガスを継続的に使用している場合、②エネファーム等通常運転でもガスを長時間連続使用する場合等。●以下の場合、ガス未使用の旨がお知らせできないことがあります。①エネファーム等通常運転でもガスを長時間連続使用する場合、②凍結防止運転等により自動的にガスが使用された場合等。●詳細は、東京ガスホームページをご確認ください。

お申し込み・問い合わせ **0120-117744** 受付時間 9:00～17:00(日・祝日を除く) <http://mimamori.tg-service.jp/> **TOKYO GAS**

## 居住者からの相談、陳情、苦情、退去受付等のお問い合わせは下記管理会社へ。

### 横浜若葉台にお住まいの方

**(一財)若葉台まちづくりセンター** ☎ 045-921-3361  
FAX 045-921-3365

水曜・祝日を除く 8:30～17:30。それ以外の緊急時は防災センターが対応します（☎は、まちづくりセンターと同じ）。

横浜若葉台以外の団地にお住まいの方

### (一社)かながわ土地建物保全協会の各サービスセンター

川崎	☎ 044-511-2500 / FAX 044-522-9405	湘南	☎ 0466-43-7731 / FAX 0466-43-7734
横浜北	☎ 045-933-0593 / FAX 045-932-4865	県央	☎ 046-251-2901 / FAX 046-255-6819
横浜南	☎ 045-778-4425 / FAX 045-778-4428	西湘	☎ 0463-71-1839 / FAX 0463-73-0428

夜間、土・日曜、祝日は、緊急連絡センター☎ 045(212)1889へ

### 【広告主さま募集中！】

県公社のたより（発行部数14,000部、年2回発行）に広告を掲載しませんか？

ご興味のある方は、「県公社のたより」担当（☎045-651-1864）へお気軽にお問い合わせください。



## 浦賀団地コンサート



▲コンサート当日の浦賀団地

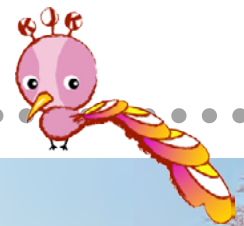
平成30年4月7日、浦賀団地（横須賀市浦上台）にて3回目となる団地コンサートが行われました。今回は、団地活性サポーター制度で連携している神奈川県立保健福祉大学のアカペラサークルに所属するグループ「りんご屋さん」が出演し、その美しいコーラスで会場を大いに盛り上げました。

また、団地活性サポーターはこの4月で13名になり、浦賀団地の活力が増してきています。



④演奏に合わせて歌う参加者のみなさんと、⑤拍手に包まれるアカペラグループ「りんご屋さん」

⑥浦賀団地に暮らす団地活性サポーター（県立保健福祉大学生）、⑦りんご屋さんのメンバー、⑧浦賀団地のご入居者・団地活性サポーター・演者による記念撮影



## 竹山池の再生（竹山団地）

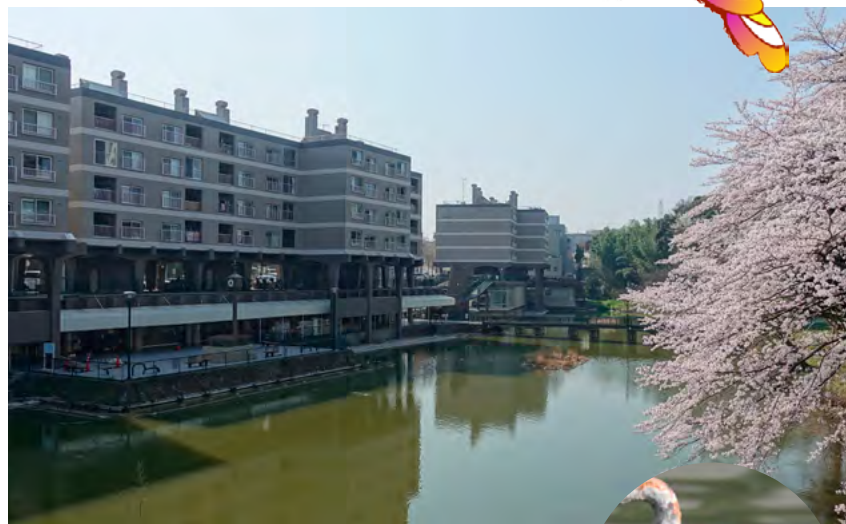
竹山団地（横浜市緑区）は、団地中心施設に人工池がある全国でも珍しい団地です。造成前は小川や棚田があり、いろいろな種類のトンボを見ることができたそうです。「水と生きるトンボ」、竹山団地の開発は、こうした水を中心とした自然を承継し、人工物と調和させることをコンセプトに行われ、その結果として誕生した人工池は、竹山池と命名されました。

竹山池は、自然の多様性を保ちさまざまな動植物が棲み分けできるような、深さ、水の流速・流量・水温・水質を確保できる工夫がなされています。しかし、開発から半世紀近くが経過した数年前は、水質が低下し、外来種が増え、当初のコンセプトからはかけ離れた状態に陥っていました。

そのような中、かつての竹山池の姿を取り戻そうと立ち上がったのは会社の賃貸や分譲にお住まいの住民のみなさんでした。その活動は平成26年頃から始まり、住民ボランティアによる数回のかい掘りなどの活動を経て、現在ではカワエビやヨシノボリなどの在来種が増え、カワセミやサギ、アイガモが飛来するなど再生が進んでいます。

また、今年の3月には竹山中央共同ビルを中心とした大規模修繕工事が完了し、ビルの1階に設けられた商店街は明るい雰囲気を取り戻しました。

近年、当社は団地再生事業に取り組んでおりますが、そこに住民のみなさまの力が欠かせないことを改めて感じた出来事として、今回紹介させて頂きました。



▲生まれ変わった竹山団地中央商店街

▼竹山池と並ぶもう一つのシンボルの螺旋階段



## 県公社のたより

第22号 2018年5月11日発行

次回・第23号は  
2018年10月発行予定です

バックナンバー（過去発行号）は  
当会社ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.kanagawa-jk.or.jp/residents/>

【企画・編集】

神奈川県住宅供給公社

「県公社のたより」担当

〒231-8510 横浜市中区日本大通33番地  
☎045(651)1864 FAX045(671)0905  
営業時間 平日 8:30～17:30

《E-mail》 [tayori@kanagawa-jk.or.jp](mailto:tayori@kanagawa-jk.or.jp)

広告



# 東京海上日動

〒220-8565 横浜市西区みなとみらい3-6-4（横浜中央支店・金融公務課）  
TEL:045-224-3519 FAX:045-224-3520